

オリンピック・パラリンピック講演会を実施しました。

11月20日（水）、車いすバスケットボール元日本代表の 神保 康弘さん をお迎えし、本校体育館にてオリンピック・パラリンピック講演会を実施しました。

～神保康弘さん略歴～

- ・1992年バルセロナ・パラリンピックから4大会連続パラリンピック出場
- ・車いすバスケットボールでの海外留学選手第1号
- ・2002年アメリカ National Wheelchair Basketball Association 1部リーグで活躍
- ・JICAや日本パラリンピック委員会による海外派遣でアジア・アフリカ地域で指導・支援活動を行う。
- ・2018年車いすバスケットボール世界選手権大会でイギリス代表のスタッフとして活動。男子金メダル、女子銀メダルの獲得に貢献。
- ・現在、梶松永製作所（車いすメーカー）に所属、イギリスを拠点に国内外での普及に努める。イギリス代表アドバイススタッフ。

野球に明け暮れた少年時代、バイク事故で下半身不随となり自分を見失いかけた時期、友人や周囲の励ましで車椅子バスケットに出会い、自身の可能性を大きく広げていった活躍の時代、そして2020東京オリンピックへ向けて。成瀬高校生に明るく優しく語りかけた神保さんの笑顔の裏に、数えきれない苦難の道、挫折、チャレンジがあったことを私たちは知りました。体育館は次第に水をうったように静かになり、私たちは神保さんの人生に引き込まれていきました。実際の競技で使用する車椅子を体験し、その操作に戸惑ったり、シュートを狙って苦戦する生徒、また見事にシュートを決める生徒、バランスを保つのに苦労する生徒など体験した生徒は何か感じたはずです。生徒を見送ってくれた神保さんの人柄を表すような大きな手に、恥ずかしそうに頭を下げていく生徒、ハイタッチをする生徒、握手を求める生徒など1年生の反応はさまざまでしたが、「まずやってみること、道は必ず拓けること」など多くを学んだことと思います。



～生徒の声～

- ・友達が存在が大切なんだ。
- ・引きこもり状態から外の世界に出ていく勇気がすごい。
- ・明るい神保さんの話が、無条件に楽しかった。
- ・まず、やってみることが大切なんだ。
- ・神保さんの手が固かった。どれほど練習したのだろうか。他多数



神保さん、本当にありがとうございました。

2020パラリンピックでまたお会いしたいです！

